



橋の番付表？

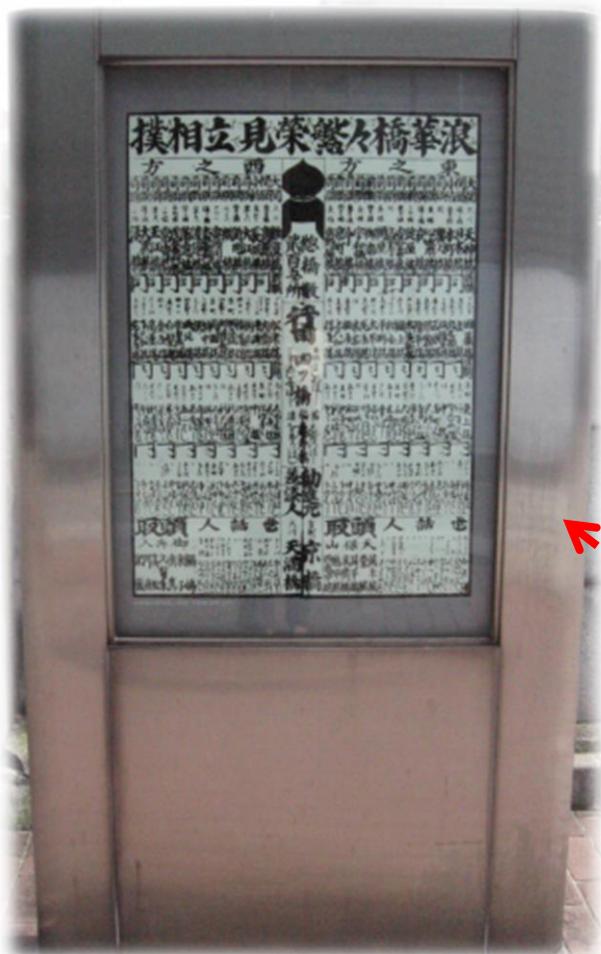
なにわはしばしはんえいみたて すもう
浪華橋々繁栄見立相撲について

錦橋(土佐堀川)の南詰に江戸時代に作成されたと思われる「浪華橋々繁栄見立相撲」と呼ばれる「橋の番付表」があります。

これは、橋の大きさではなく、通行量の多さでの番付となっています。

行司が四ツ橋、東の大関が天神橋、西の大関が難波橋です。

このように、大阪の人は番付をつけるほど橋に親しみをもっていたことが伺えます。



錦橋(土佐堀川)

錦橋の橋上には、錦絵が飾られており、橋名もそこから名付けられたといわれています。

